

中央校で妊婦体験

1/28 [Thu]



▲民生委員などから指導を受け、妊婦体験を行う児童

生活に支援や配慮が必要な人の気持ちに寄り添い、思いやりの心を育むため、多久市社会福祉協議会と多久市民生委員児童委員連絡協議会が、東原庁舎中央校で妊婦体験の出前授業を行いました。

この出前授業は「福祉体験学習授業ふくしの種まきプロジェクト」の一環として、平成30年から取り組まれている事業で、これまで高齢者や視覚障害者の生活を体験できる授業などを実施されていましたが、妊婦体験は今回が初めて。

参加した中央校5年生の約100人の児童は、妊婦体験ジャケットを身に着け、床に落ちた物を拾ったり、マットの周りを歩いたり、寝転ぶなどの体験をしました。

体験を終えた児童は「起き上がる時やしやがむ時など、バランスを取るのが難しかった。妊婦さんの大変さが分かったので、バスや電車で見かけたら席を譲りたい」と話しました。

YouTube で動画が見れます!

県内一周駅伝結団式



2/2 [Tue]

第61回郡市対抗県内一周駅伝大会結団式（主催：多久市、一般財団法人多久市体育協会）を中央公民館で開催しました。式では横尾俊彦市長が「個人の努力とチームの絆で自己ベストを目指して走り抜けてください」と激励。参加者は大舞台での健闘を誓いました。

選手を代表し、中島遙音さん（東原庁舎東部校9年生）が「大会に向けて精一杯練習を頑張ってきた。応援して下さるみなさんに、笑顔や勇気を与えられるような走りをする」と宣誓。

岸川隆監督は「学生から大人まで連携して練習ができ、一桁順位を狙えるチームづくりができています。走る喜びと感謝の気持ちを持ち、多久市の代表として自分の力を発揮してもらいたい」と選手を激励しました。



▲結団式で健闘を誓った多久市チーム



▲結団式で中島さんが力強く選手宣誓を行いました

YouTube で動画が見れます!

株式会社三進物流と進出協定を締結



2/2 [Tue]



▲市役所で進出協定を締結した砥上代表取締役（右）と横尾俊彦市長（左）

冷凍・チルド食品の配送を手掛ける株式会社三進物流（本社：上峰町）が、事業拡大のため多久市と進出協定を結びました。九州や関西、関東への商品を保管する倉庫を北多久町に新設し、11月に操業開始を予定されています。

今回の進出は、本社に続いて2か所目となる倉庫増設に伴うもので、受注が増えている長崎県への配送をより円滑にすることが期待されます。

締結式で(株)三進物流の砥上時政代表取締役は「冷凍・冷蔵倉庫の少ないエリアの中でも交通の便が良く、私の地元でもある多久市に倉庫の新設を決めた。品質管理と安全運行を徹底していく」と今後の決意を話されました。